伯経済（クリチバ市地下鉄建設計画の入札公示：報道）

　１２日付当地紙「ガゼッタ・ド・ポーヴォ」は、クリチバ市の地下鉄建設計画にかかる入札が公示された旨報じているところ、概要以下のとおり。

１　今週、クリチバ市は、同市における第一期地下鉄建設計画の入札を公示した。トゥリウンフォ・コンソーシアムによって実施された本件フィージビリティ調査の結果、上限運賃は２．４５レアルと提示されていたが公聴会後に追加で建設が決まったサンタレジナ駅の建設経費（１億２千万レアル）が加算されることを受け、２．５５レアルに引き上げたものとなった。

２　フィージビリティ調査に対しては、パラナ農業地域評議会及びパラナ都市建築家評議会等の監視機関から運賃改訂やバスとの統合システムについて不透明さ等の批判があがっていたが、ファビオ・スカトリン・クリチバ市企画局長によれば、今般の入札図書には上限運賃額の引き上げのみが主な修正点であった。

３　応札する企業グループは、８月１１日の午前９時から１２時までにサンパウロ市のＢＭ＆ＦBovespaの本部に応札書類を提出しなければならず、上限運賃２．５５レアルを超えない最安価の運賃を提示したグループが落札することとなる。なお、運賃は現在の価格であり、実際に運行が開始される予定の２０１８年にはインフレ等の調整が行なわれることとなる。

４　落札業者との契約は８月に行なわれるものの、実際の工事は２０１５年上半期に開始され、工業団地南部駅を起点とし市内中心部のルアダスフローレス駅までの１１駅は２０１８年に完成する予定である。その後、カブラルまでの３駅が２０１９年に完成する予定である。

５　建設の総経費は４６億レアルでうち連邦政府が１８億レアル、パラナ州政府及びクリチバ市が各々７億レアルを負担し、残る１２億レアルは官民パートナーシップとして民間企業側が負担することとなり、企業側は３５年間にわたって運営権を保有することとなる。

６　スカトリン局長によれば、完成後の推定利用者数は一日当たり２７万人とし、カブラルまで延長された際には更に１２万人の増加が見込まれる旨述べた。その後は、現在は自家用車を利用している市民が、バスで地下鉄の駅まで行って地下鉄を利用することで地下鉄の利用者が増加するものと予測している。（了）